

トピックス

・上田教授、吉野教授が山陽新聞賞受賞

本学大学院教育学研究科の上田久利教授と自然科学研究科の吉野雄二教授が、地域社会への貢献や国際舞台での活躍が顕著な個人・団体に贈られる「第73回山陽新聞賞」の文化功労賞、学術功労賞をそれぞれ受賞しました。

上田教授は、塑造による裸婦の彫刻を中心に乾漆彫刻やろう型铸造による彫刻を研究。岡山県総合グラウンドの有森裕子像などを製作し、彫刻界の発展に多大な貢献をしました。

吉野教授は、代数学の一分野である環論を専門に研究。1990年に出版した“Cohen-Macaulay Modules over Cohen-Macaulay Rings”は、環論を学ぶ上で極めて重要な書物として国際的に定着しています。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4224.html



・本学教員らがカンボジアでの運動会開催を支援

カンボジアのスヴァイリエン州にあるピートゥヌー、プレアシヌーク両小学校で、昨年12月26、27日、運動会が開催され、本学大学院教育学研究科の原祐一講師や岡山県、岡山市教育委員会、本学学生ら10人が連携協力し、支援を行いました。両校ともに、児童約600人と保護者らが参加しました。

運動会は、同年9月に原講師がNPO法人「ハート・オブ・ゴールド」と連携し、両校の教員と教育省のメンバーを中心に準備を進めてきました。サービスラーニングとして、本学学生は、カンボジアの大学生と一緒に活動するなどしました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4244.html



最近の大学の取組

・岡大生は後樂園入園無料に

本学は1月から、学生が後樂園（岡山市）などに無料で入園できる「岡山後樂園キャンパスメンバーズ制度」に加入しました。

制度は、若者に岡山後樂園の歴史的文化的価値を認識してもらい、岡山県を代表する観光地としての魅力を県内外へ情報発信してもらえるよう、入園機会を拡大することを目的に設置された制度です。岡大生（学部生・大学院生）は学生証を提示すれば、後樂園、岡山県立博物館、岡山県立美術館（博物館・美術館は通常展示に限る）に何度でも無料で入園できます。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4203.html



後樂園（岡山県提供）

・新技術説明会で最先端の研究成果を公開

本学は、1月9日、独立行政法人科学技術振興機構と共催で「2014年度岡山大学新技術説明会」を、東京都内で開催しました。企業関係者らを前に研究者自身が技術を説明。実施企業・共同研究パートナーを募って研究成果の実用化を促進することを目的として実施しました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4247.html

最近注目の研究

・驚異の新種！アキラマイマイ～「晴れの国おかやま」を象徴するかたつむり～

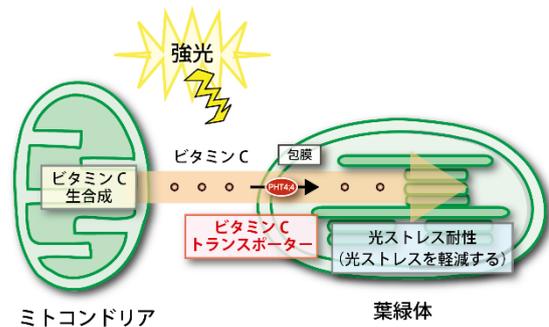
本学大学院環境生命科学研究所（農）の福田宏准教授、国立科学博物館の亀田勇一支援研究員の共同研究グループは、岡山県南部と香川県島嶼部に固有な陸産貝類（かたつむり）の新種を認識し、アキラマイマイと記載・命名しました。本研究成果は平成 27 年 1 月 15 日刊行の「Venus」（日本貝類学会発行）に掲載されます。アキラマイマイは市街地周辺に多産するにも関わらず見過ごされてきました。その姉妹種シメクチマイマイと外見で識別できず混同されてきたからです。貝類では、互いに別種であるのに殻などの外部形態で識別できない例は極めて稀です。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id263.html

・植物のビタミン C 輸送体を世界で初めて同定

本学自然生命科学研究所の宮地孝明准教授、大学院医歯薬学総合研究科の森山芳則教授、資源植物科学研究所の馬建鋒教授、理化学研究所環境資源科学研究所の黒森崇上級研究員らの共同研究グループは、アスコルビン酸（通称：ビタミン C）を葉緑体へ運ぶ輸送体（トランスポーター）を世界で初めて突き止めました。本研究成果は、平成 27 年 1 月 5 日、英国の科学雑誌「Nature Communications」電子版に掲載されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id260.html



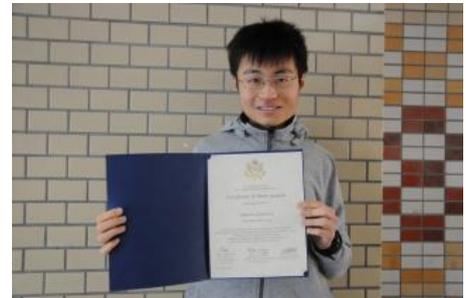
学生の活躍

・理学部山根さんが 3 位に 英語スピーチコンテスト

本学理学部 4 年山根卓大さんが、大阪・神戸アメリカ総領事主催の『第三回英語スピーチコンテスト』（平成 26 年 12 月、京都市）で、3 位に入賞しました。

コンテストでは 200 人の観客が見守る中、各大学の代表者 15 人が流暢な英語と素晴らしいパフォーマンスを披露。山根さんは EPOK（短期留学プログラム）での経験を基に、自身の考えを語りました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4204.html



行事予定

・国際シンポジウム「International Symposium on Bio-imaging and Gene Targeting Sciences in Okayama」

2 月 15 日（日） 岡山大学創立五十周年記念館

・医療展示会 中央西日本メディカル・イノベーション 2015

2 月 17 日（火） 岡山大学 Junko Fukutake Hall

岡山大学は、以下のページでも情報を発信しています

- ・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
- ・岡山大学 Twitter https://twitter.com/okayama_uni
- ・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学総務・企画部 企画・広報課

Tel : 086-251-7293, 7292 Mail : www-adm@adm.okayama-u.ac.jp